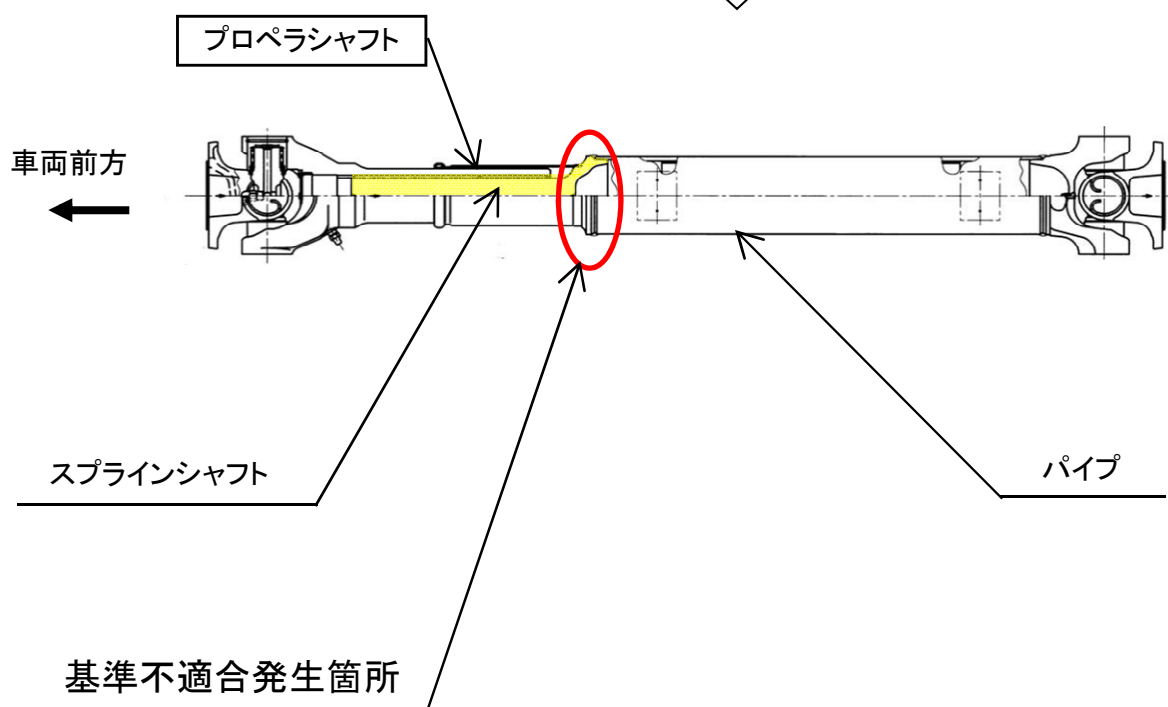
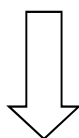


改善箇所説明図



プロペラシャフトにおいて、プロペラシャフトのパイプとスプラインシャフトの溶接部の設計強度が不足しているため、プロペラシャフトの溶接後の曲がり直しを行った際、当該溶接部に微細亀裂が発生しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進展し、最悪の場合、プロペラシャフトが折損・脱落し、走行不能となるおそれがある。

注: 内は交換部品を示す。

改善の内容

全車両、プロペラシャフトを対策品と交換する。

識別 : プロペラシャフトのパイプ部に黄色ペイントを塗布する。